

健康診断価格表 (税抜)

動物は我々人間よりも年をとるスピードが早く、
いつまでも子供のように思っている、
“いつの間にか人年齢に置き換えると自分よりも年上になっていた!”
なんていうこともよくあります。

目安として若い子達で1年に一度、シニア(7歳以上)期の子は半年に1度の健康診断を!

若年齢コースの犬・猫

- ① お手軽健診 : ¥5,500
血液検査のみ(貧血・血糖値・肝数値・腎数値・コレステロール値など)
- ② スタンダード健診【※半日入院】 : ¥10,000
血液検査(貧血・血糖値・肝数値・腎数値・コレステロール値など)、レントゲン検査、
エコー検査(心臓 OR 腹部)、便検査、尿検査

シニアコースの犬・猫

- ③ お手軽健診 : ¥10,000
血液検査(貧血・血糖値・肝数値・腎数値・コレステロール値などに《+α: 甲状腺ホルモン・SDMA》)
- ④ スタンダード健診【※半日入院】 : ¥15,000
血液検査(貧血・血糖値・肝数値・腎数値・コレステロール値などに《+α: 甲状腺ホルモン・SDMA》)、
レントゲン検査、エコー検査(心臓 OR 腹部)、便検査、尿検査

追加オプション(血液検査)

- 犬 ANP(心臓病チェック) : ¥5,000
check👉“最近咳が気になるなあ”という方
- 甲状腺ホルモン : ¥6,000
check👉“最近やたらお水飲むとか、食欲旺盛または不振なのが気になるなあ”という方
- SDMA(腎臓病の早期発見チェック) : ¥2,000
check👉“腎臓病が心配だなあ”という方

犬の死亡原因で多いのはガン(悪性腫瘍)に次いで、2位に心臓病といわれています。

猫の死亡原因で一番多いのは腎臓病(腎不全)といわれています。

✔️血液検査は外注検査になりますので、結果報告までに検査日から2週間ほど要する場合もございます。

✔️より正確な検査をするために、8時間以上絶食した上での検査をお勧めいたします。

✔️便検査・尿検査をされる場合、検体(特に尿)はなるべく新しいものをお持ちください。

※尿検査に関しましては、改めて別日にお受けいただく事も可能です。

